

みなみこども園支援員活動



テーマ【善悪の判断】

少ない人数でしたが、アットホームな雰囲気の中話をしている姿が印象的でした。テーマが難しい中で、『出かける前に約束を伝えてから行くようにしている』という家庭でのルールや、『カートに乗ってくれない』『カートを引きたがる→人とぶつかりそうになる』等のよくある話がたくさんでていました。

また、昔は周りの人がいけない事を注意してくれたり、逆に子どもが泣いていても温かい目で見えてくれる等、周囲の目も優しくかった。今は、周りのみんなも余裕がなくて、そうできない世間もある。難しいね・・・といった内容を支援員と話しているグループもありました。

年齢によって、いいこと、悪い事の認識は変わっていきます。小さい頃から、いけない事はダメだよ。と表情や言葉で繰り返し伝えていく事で善悪の判断ができるようになるのかなと感じました。

善悪とは少し違うかもしれませんが、「夜寝る前にぎゅーとして寝ると翌朝スムーズに支度など進みやすい」という感想がでました。いけない事を伝えていくのも大切ですが、子どもの気持ちを安定させて、急がせない、怒らない工夫をする事も大切だなと思いました。寝る前のぎゅーは、簡単にできそうなので、皆さんも取り入れてみてください。

みなみこども園の皆様、ありがとうございました。

